

社団法人 日本理学療法士協会
東北ブロック協議会 理事会会議録要約

平成 21 年度第 2 回理事会

日時:平成 21 年 12 月 11 日(金)15:30~18:30

会場:仙台市民会館 2 階 第 7 会議室

出席者

【役員】

会 長:渡邊好孝(宮城県), 副会長:高橋仁美(秋田県), 理 事:伊藤和夫(青森県), 川口徹(青森県), 櫻田義樹(岩手県), 及川龍彦(岩手県), 大場みゆき(秋田県), 榊望(宮城県), 早坂健次(山形県), 多田利信(山形県), 舟見 敬成(福島県)

【監 事】高橋穂(山形県), 安藤等(宮城県)

【日本理学療法士協会】菅原巳代治(秋田県), 板場英行(高知県), 斎藤功(秋田県)

【事務局】中野渡達哉, 菊地雅行(以上宮城県)

【学術局】及川龍彦(岩手県), 須藤恵理子(秋田県), 三浦雅史(青森県), 赤塚清矢(山形県)

【学術大会担当】遠藤伸也(第 27 回宮城県), 須藤恵理子(第 28 回秋田県), 及川龍彦(第 29 回岩手県)
(敬称略)

報告事項

I. 第 27 回学術大会(宮城県理学療法士会)報告

報告者:遠藤伸也大会長

1. 期日:平成 21 年 12 月 12 日(土)~13 日(日)

2. 会場:仙台市民会館 青葉区桜ヶ岡公園 4 番 1

3. テーマ:『輝く明日へー職域を越えてー』

4. 組織体制

大会長:遠藤伸也氏(齋藤病院)

副大会長:小林武氏(東北文化学園大学), 三浦幸一氏(国立病院機構医療センター), 山本幸子氏(東北公済病院宮城野分院)

準備委員長:榊望氏(仙台リハビリテーション病院)

学術局長:藤村伸氏(東北厚生年金病院)

事務局長:高村元章氏(東北福祉大学)

5. 参加費:会員 ¥ 4,000 (事前登録 ¥ 3,000), 非会員 ¥ 5,000, 学生 ¥ 1,000, 一般無料

参加目標 1,060 名(事前登録者数 302 名)

6. 学術大会内容

① 演題発表は 98 演題(口述発表 26 演題, ポスター討議 58 演題, 学生発表 14 演題)

② 特別講演

『理学療法での「複雑系科学」の使い道』

講師:久保雅義氏(新潟医療福祉大学)

③ セミナー

「糖尿病を含めた血管病変と理学療法の今後」

講師:舟見敬成(総合南東北病院) 「理学療法をとりまく法制度についてー現在と未来ー」

講師:岩月宏泰(青森県立保健大学)「明日から始める研究のいろは 問題解決のプロセス」

講師:対馬栄輝(弘前大学大学院) 木元稔(秋田太平療育園)

「今後の臨床実習のあり方を考える」

講師:藤澤宏幸(東北文化学園大学)

「最新の装具機能と歩行 理学療法士はどう関わるべきか」

講師:関川伸哉(東北福祉大学)

「職域や対象者との多様化と理学療法士に求められるもコミュニケーションスキル」

講師:福田裕子(エンパワーメントスクール ソレイユ)

④ シンポジウム

テーマ:「病院の外から理学療法を考えるー現場の声ー」

座長:星孝氏(仙台徳州会病院) 遠藤伸也(齋藤病院), シンポジスト:上村太一氏(健生株式会社), 中田隆文氏(須藤内科クリニック), 大友昭彦氏(リハサポート桜樹)

テーマ:「震災復興に関する報告会ーそのとき, 理学療法士が動いたー」

座長:三浦幸一氏(国立病院機構仙台医療センター) 黒木薫氏(東北福祉大学), シンポジスト:伊藤英二氏(栗原中央病院) 五十嵐進氏(新潟県士会副会長白根大通病院), 神沢信行氏(兵庫県士会理事甲南女子大学)

⑤ 市民公開講座

テーマ:「スマートエイジングのための体づくり」

講師:永富良一氏(東北大学大学院)

⑥ 大会長基調講演

⑦ 企業セミナー・機器展示書籍販売

7. 収支決算

収入:予算 5,443,326 円(学会援助金 600,000 円, 学会整理費 3,500,000 円, 会場整理日援助金 200,000 円, 展示広告料 600,000 円, 発送援助金 543,326 円)

支出:会場整理費 1,300,000 円, 印刷費 1,300,000 円(4000 冊), 発送通信費 743,326 円, 講師料 950,000 円, 会議・人件費 800,000 円, 事務費 200,000 円, 広告宣伝費 100,000 円, 雑費 50,000 円

II. 第 28 回学術大会(秋田県理学療法士会)報告

報告者:須藤 恵理子

1. 期日:平成 22 年 11 月 6 日(土)~7 日(日)

2. テーマ:理学療法魂ー理学療法士の原点とはー

3.会場:秋田市文化会館 秋田市山王7丁目3番1号
4.参加費:会員4000円・非会員5000円・学生1000円・
一般無料 参加目標:会員550名,学生50名

5.大会役員

大会長:高橋仁美氏(私立秋田総合病院)

副大会長:高見彰淑氏(秋田県立脳血管研究センター
学術局長),山平斉氏(秋田赤十字病院 事務局長),
畠山和利氏(秋田大学医学部附属病院 運営局長)

準備委員長:須藤恵理子氏(秋田県立リハビリ・精神
医療センター)

6.開催内容

① 演題60演題(口述発表20演題・ポスター演題40
演題を予定)

② 特別講演:「医療専門職におけるプロフェッショナ
リズム」,講師:尾藤誠司氏(国立病院機構東京
医療センター教育研修部医長)

③ 市民公開講座:「NHK スペシャル『闘うリハビリ』
を放送して～暮らしの質の向上を求めて～」,講
師:藤田太寅氏(元NHK解説委員 経済ジャーナ
リスト)

④ 基調講演:「理学療法魂 現在の危惧と将来展望
(仮)」,第28回学術大会長 高橋仁美氏

⑤ セミナー

i)「循環器理学療法に必要な知識と技術」(仮)

講師:松永篤彦氏(北里大学医療衛生学部)

ii)「理学療法に必要な脳科学の知識」

講師:金子文成氏(札幌医科大保健医療学部)

iii)「整形外科疾患における理学療法」

講師:福井 勉氏(文京学院大学)

iv)「訪問リハビリ時に必要な理学療法知識」

講師:伊藤隆夫氏(船橋リハ病院)

⑥ 大討論会

「理学療法魂とは」ーベテラン理学療法士 VS 中
堅・若手理学療法士ー

ベテラン理学療法士8~10名,中堅8~10名に
分かれて「理学療法魂」に関する,あるテーマにつ
いてアンケートシラカードの「YES」「NO」回答す
る.その回答について司会者が選出した人にコメン
トを求める討論形式.

⑦ その他

i)近隣の飲食場所が限られている為,弁当販売に
ついて検討する.

ii)機器展示・書籍販売を検討する.

7.大会日程:秋田市文化会館,大ホール,小ホール,

大会議室にて2日間にて実施.1日目は,開会式,
学術大会長基調講演,大討論会,口述発表I・II,
市民公開講座,セミナー1・2,ポスター展示・発表.
2日目は,特別講演,口述発表III・IV,セミナー3・4,
ポスター発表IIとなっている.

8.予算:収入は合計3,950,000円(学術大会援助金
600,000円,会場整理費2,250,000円,広告展示協
賛500,000円,発送援助金600,000円)

支出:収入と同金額(会場設営費など800,000円,
印刷費900,000円,発送通信費800,000円,講師費
800,000円,会議・人件費500,000円,事務費
100,000円,雑費50,000円)

9.今後協議予定

・事前登録制度を引き継ぐか,否か.継承する場
合は,来年4月理事会に修正予算案を提出.追
加援助金を申請予定.

・発送援助金の詳細も来年4月までに見積もりを
提出予定.

○検討事項

テーマに関して:「原点回帰」に形容詞をつける.

事前登録に関して:学術大会の結果を踏まえて前
向きに検討していく.

予算に関して:依頼する業者によって,金額が異なる
ため,業者を具体的に決め見積りを出す.

Ⅲ.第29回学術大会(岩手県理学療法士会)報告

報告者:及川 龍彦

1.大会役員

大会長:佐々木重利氏(花巻市老健花の苑)

副大会長:川村美博氏(イーハトーブ病院)

Ⅳ.会計監査報告

平成21年度東北ブロック協議会中間会計監査終了.

Ⅴ.学術局会議報告

1.学会部報告(部長:須藤恵理子)

第27回東北理学療法学術大会賞の最優秀賞と奨励
賞者が決定した.

最優秀賞

論文:実際の動作能力と認識の間に生ずる“認識誤
差”について-若年者での基礎的研究-

著者:宮川 舞子 對馬 均(財団法人黎明郷弘前
脳卒中センター)

奨励賞

論文:立位姿勢における足圧中心動揺の年齢的相
違

著者：渡部 麻梨子（山形県立保健医療大学大学院）

2. 機関誌編集部（部長：三浦雅史）

- ・第21号編集結果報告：印刷部数は総計3600冊。
- ・査読委員は各県10名推薦。専門分野に偏りがないうように配慮。東北六県にて総数60名。
- ・第22号締切1月15日、発刊7月8日予定。
- ・拡大編集会議を12月12日に開催予定。2008年7月23日の投稿規定変更に伴い、23号から「研究論文、症例研究、短報、その他」へ区分を変更予定。

3. 教育研修部報告（部長：赤塚清矢）

臨床実習指導者会議の開催順序は、福島県、山形県、宮城県、秋田県、岩手県、青森県。（学術大会の3年後の県とした）

4. 提案事項（村上 三四郎）

- ・東北ブロックの新人教育プログラムの履修率が低い為、今年度中にそれに対応する講習を行いたく、理事会にて審議していただきたい。

VI. あり方委員会報告 報告者：渡邊 好孝会長

9月27日、松田病院において第1回あり方委員会を開催。その中で齋藤功氏による理学療法士講習会の説明会と、村上氏から東北6県の新人プログラムの履修率が低いことなど生涯学習に関する説明会も行われた。ディスカッションを通して、東北独自の新規事業として卒前教育を含めた社会人教育等に関する研修の必要性や、各県理学療法士会間のさらなる連携強化のための連絡会議などの意見が挙げられた。他に、会員への東北ブロック協議会の認知や各県理学療法士会の研修会情報の共有などのために、東北ブロック協議会のホームページ開設が提案された。今後は委員長を中心にさらに進めていくこととなった。

VII. 事務局会議報告 報告者：中野渡 事務局長

理事会前、大場理事に事務局へ来ていただき、事務局・財務機能向上に関する会議を開催した。

議事

第1号議案 学術大会演題の応募資格について

提出者：渡邊 好孝 会長

- 1) 発議：今学術大会に登録された抄録の中に、他学会等ですでに発表したものとほぼ同一の抄録が採択された。このような演題の取り扱いについて学術局、学術局担当者より意見を貰いたい。

- 2) 決議：会員へモラルを遵守するために、次回の学術大会の演題応募に注意喚起の文章を提示することとなった。今回の発表者に対しては、大会側から注意・指導が与えられている。

第2号議案 学術局内規改定について

提出者：渡邊 好孝 会長

- 1) 発議：これまで学術局長は各県から3名ずつ選出された計18名から互選されていたが、本年度改選において局員以外からの選出がなされた。現細則・内規においては本選出を規定する文面が存在しないことから、これを規定する文面の追加について承認を頂きたい。
- 2) 決議：学術局内規を「学術局は各県理学療法士会長が選出した各県3～4名の合計20名以内で組織し、学術局長は委員の互選とする」と改定することで、承認された。

第3号議案 あり方委員会委員長の選出

提出者：渡邊 好孝 会長

- 1) 発議：あり方検討委員長を選出し、理事会で承認をいただく。
- 2) 決議：委員長は、舟見敬成氏（福島県）に決定。

第4号議案 事務局担当理事について

報告者：渡邊 好孝 会長

- 1) 発議：大場理事を事務局担当理事として承認いただきたい。
- 2) 決議：学術局内理事と加え次回継続審議とした。

第5号議案 旅費規程改定について

報告者：中野渡 事務局長

- 1) 発議：別紙資料の旅費規程について審議された。
- 2) 決議：内容を一部修正し、本日を以って旅費規程を試行することとなった。

第6号議案 事務協力員について

報告者：中野渡 事務局長

- 1) 発議：事務協力員を設置することを提案する。
- 2) 決議：事務局役務費等の規則を一部修正し、本日を以って試行することとなった。

第7号議案 財務機能の改善について

報告者：中野渡 事務局長

- 1) 発議：決算報告は会計年度を遵守する。各局・委

員会に支給した仮払金については年度内に精算して頂く。学術大会の決算においても年度内に会計を閉じ、会計監査をして頂く。予算編成にあたり、各局・委員会からは事業計画をもとにした予算請求を頂く。

2) 決議:提案事項について承認された。

第8号議案 理学療法士のあるべき姿について

報告者:山口 和之 理事

- ・ 次回山口理事が出席した際の審議とした。

第9号議案 東北ブロックの目的・事業について

報告者:大場 みゆき 理事

1) 発議:会務を執行する理事, 理事会が「東北ブロックのあり方」, 「会則の目的を果たす為にどんな事業をするべきか」について

2) 検討内容:

- ・ ブロック協議会は, 定款・細則があり, ブロック独自に行動できる。
- ・ ブロック協議会は, 時代に合わせて柔軟に対応してはどうか。各県内では補えないところをブロック協議会がサポートできるようにしてはどうか。
- ・ 協会から県へ依頼される研修をブロックと通して共有してサポートしてはどうか。
- ・ ブロック協議会独自の課題を見出すことも必要。
- ・ 地域の人々への社会貢献も必要。
- ・ 四国ブロックでは, 新人教育について情報の交換なども行なっている。
- ・ 学術大会を無料にしても良いのではないか。
- ・ 今の東北を振り返ってはどうか。
- ・ ホームページを立ち上げてはどうか。

以上